

私も参加 自慢できるまちづくり

長島路の沿道では春になり、多種多様な花が開き始めました。その一方雑草も生えはじめ、町内各地では手がけた花の手入れを行う姿が多くなります。赤崎集落の小崎トキノさん（85）は「雑草が生い茂ると花がかわいそう。これからもできる範囲で続けたい」と雑草を抜く手に力を込めていました。



編集後記

川添健町長が「町民の融和と自慢できるまちづくりを進めたい」とよく話します。

今月号の最終ページで掲載した上記の小崎トキノさんも長島を愛するその一人で、地域や町のため何かお手伝いできたこととのお話。本人は特別なこととは感じてはならず「自分が出る範囲」と話すこの心が、まちづくりには欠かせないと思えました。これまで長島を支えてきた一員の小崎さん。にじみ出た手のシワを見て感謝するとともに笑顔に感動しました。

子どもから高齢者まですべての町民が一体となった花街道づくり。合併6年目を迎え、旧町間の隔たりが少なくなり、融和を図るための一つの施策が、町民の自慢となっていることは間違いなく、確実に町の活性化につながっていると感じます。

（小屋昭彦）